

出前講義「パラリンピック教育」

【実施校】北名古屋市立天神中学校

北名古屋市市民タイムズ 4月14日（金）朝刊



メダルを獲得した伊藤則子選手（中日新聞社会事

天神中学校で3月8日、「障がい者スポーツを知ろう！パラリンピック教育」の講義と交流会が行われた。韓国仁川2014アジアパラリンピック大会、女子バドミントン、女子ダブルス、ミックスダブルスで銅メダルを獲得した伊藤則子選手（中日新聞社会事

「手伝いましょうか？」

の声掛けを 天神中で講義と交流会

業団勤務）とロンドン、リオのパラリンピックで日本選手団帯同トレーナーの鳥居昭久愛知医療学院短期大学教授（清須市）が講師を務めた。

初めに1、2年生徒（207人）を対象に、鳥居さんが障がい者スポーツやパラリンピックについての理解を促すために理念や特徴、ルールなどの講義を行った。また、幼い頃から病気で義足生活となった伊藤選手は、

運動を避けるようになった伊藤選手は、

「手伝いましょうか？」

の声を聞いた22歳から日本の代表選手になるまでの苦勞を話した。

た。くさんの困難にも負けず、常に前向きな考えでスポーツに取り組んでいる

姿勢に、生徒たちは感銘を受け、何事にも諦めないでトライする事を学んだ。

この後、伊藤選手と生徒たちとの交流会ではフリーも行われ、スマッシュを打ち返し喜ぶ生徒、手も足も出さず悔しがらる生徒など、楽しい時間を過ごした。質疑応答の時間もあり、伊藤選手の外した義足を生徒たちが触れた

当地で個別指導31年目

◆当勤HP、直近までの成果など随時更新しております。
◆週回数関係なく5教科いつでもOK！◆黒板プロが指導、成績上位の方も！

◆中1例90分週2回16,640円 ◆小5例90分週1回7,780円(税別)
◆勉強習慣付けに「平日毎日コース」(無料)

栄光学園西春校 0568-25-1755

り持ったりしながら義足の重みと大切さを感じ取っているようだった。

最後に鳥居さんが、生徒たちに、「障がいのある

人を特別視せず普通に接したり、「何かお手伝いすることはありませんか？」という声掛けをしたりしてほしい」と伝えられた。1年生の江頭心さんは「障がい者スポーツのことだけでなく、今まで戸惑っていた声掛けなども学べて参考になりました。伊藤選手にはこれからも頑張してほしいです」と話した。